

かんたん配管継手 施工手順書(曲げ配管編)

接合手順

① 清掃



継手受口内面および管差口外面を乾いたウエスで清掃する。管差口に標線を記入する。

※標線位置
φ200⇒190mm
φ250⇒210mm

② 挿入



ボディ管内のさや管を接続後、かんたん配管継手にボディ管を挿入する。挿入は手挿入が可能です。

※面取不要 滑剤不要

③ 固定



マイナスドライバーを使用し、写真赤丸部のSUSバンドを手締めで目一杯締付けて管を固定する。

※マイナスドライバー
参考長さ:150mm

曲げ手順

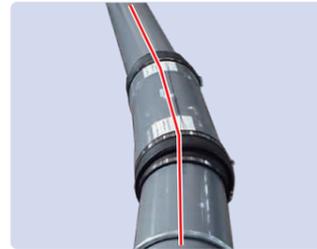
④ 確認



さや管が挿入されている管と継手が一直線であることを確認する。

※継手部の管頂ラインと管の管頂ライン(印字など)が一直線になるよう継手を配置する(回す)。

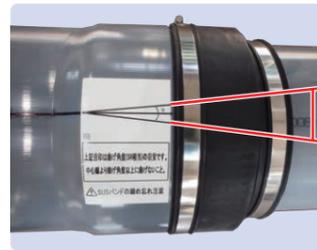
⑤ 曲げ



片側の管を固定し反対側の管を曲げて継手両側の角度を調整する。角度は継手シール部の支点と管の管頂ライン(印字など)で確認する。

※角度は(5mR相当)を超えないように注意する。(シール参照)

⑥ シール確認



シールには注意喚起として、角度の支点と最大曲げ角度(5mR相当)を記載しています。

※支点から管頂ラインまでの曲げ角度(目安)が最大曲げ角度範囲以内であることを確認し厳守願います。最大曲げ角度は±5.73°です。

⚠ 注意事項

- ・シールに表示している最大曲げ角度(5mR相当)以上に曲げないようにしてください。管・継手の亀裂・白化・変形などの原因になります。
- ・かんたん配管継手間の短管長さは、700mm以下にしないでください。さや管の変形などの原因になります。
- ・SUSバンド締付けの際には、ゴム材とのたるみをとりながら片締めにならないように注意してください。
- ・ラチェット式レンチを使用する場合は、トルクが測定できるものを使用してください。マイナスドライバーよりも片締めになり易く、締付け過剰になり易いので慎重に締付けてください。(参考締付けトルク3N・m)
- ・電気工具での締め付けは、片締め、締付け過剰になる恐れがあるため行わないでください。
- ・曲げ配管施工後、埋戻し前に管の抜けが無いかなどを確認願います。

株式会社クボタケミックス

本社 ☎661-8567 尼崎市浜一丁目1番1号 ☎(06) 6470-5970
 東京本社 ☎104-8307 東京都中央区京橋二丁目1番3号 ☎(03) 3245-3085
 北海道支店 ☎060-0003 札幌市中央区北三条西三丁目1番54 ☎(011) 214-6291
 東北支店 ☎980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目6番1号 ☎(022) 267-8955
 中部支店 ☎450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目22番8号 ☎(052) 564-5145
 中国支店 ☎732-0057 広島市東区二葉の里三丁目5番7号 ☎(082) 207-0596
 九州支店 ☎812-0011 福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号 ☎(092) 473-2453
 北陸営業所 ☎920-0022 金沢市北安江一丁目11番7号 ☎(076) 223-2520
 四国営業所 ☎760-0050 高松市亀井町2番地1 ☎(087) 836-3908
 沖縄営業所 ☎900-0016 那覇市前島三丁目1番15号 ☎(098) 860-7115

※当カタログに記載の内容は、製品改良のため予告なく変更することがあります。
 また許容差のない数値は参考値とします。
 ※製品写真の色は印刷のため、実際とは若干異なります。
 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

詳しくは
ホームページ 製品情報/トピックス/電子カタログ閲覧/
 資料ダウンロード/Q&A/季刊誌(PAL)
<https://www.kubota-chemix.co.jp>



No. E08-00

22.2.0.5.IN.B5



電線共同溝向け管路材 SUSバンド固定式ヤリトリ継手 「かんたん配管継手」

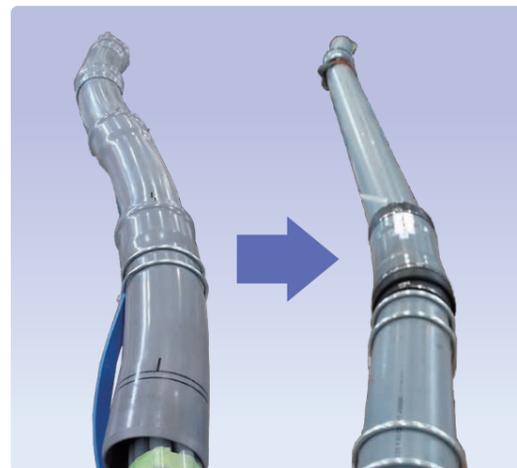
株式会社クボタケミックス

1個で3つの機能



配管の低コスト化と簡単な施工を実現します

曲管



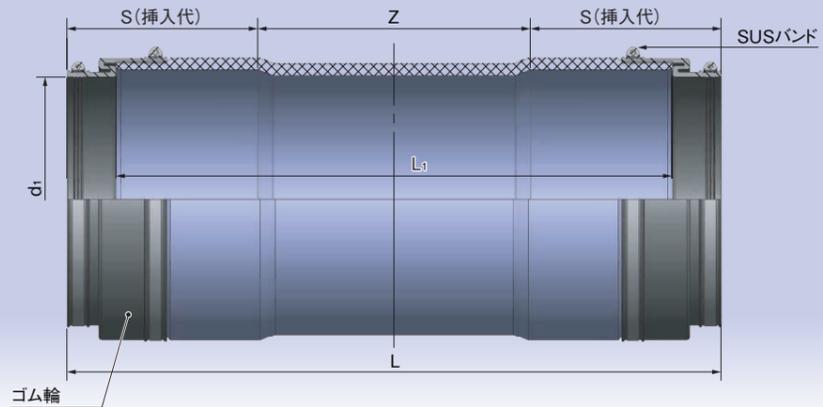
直線継手



ヤリトリ継手



1個で3つの機能(**曲管** **直線継手** **ヤリトリ継手**)を持つため、「直管」と「かんたん配管継手」のみ※で管路を構築できます。 (※ダクトスリーブとロータス管は使用します)



■適用サイズと寸法

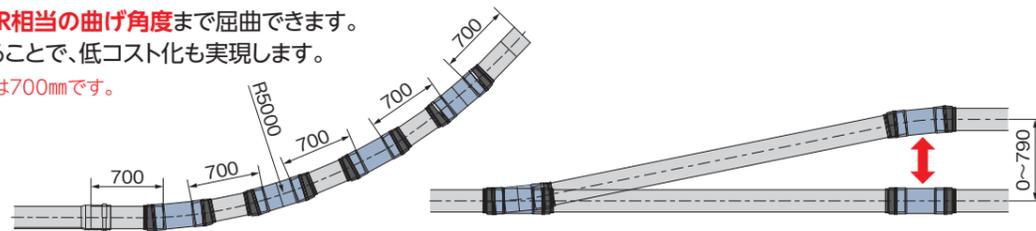
呼び径	d1	S(挿入代)	Z	L1	L±10	参考質量(kg)
100						企画中
150						企画中
200	217.5	190	300	572	680	5.6
250	268.5	210	300	612	720	11.0

単位: mm

5つの「かんたん」を実現

1 屈曲部の設計・施工が「かんたん」

直管と継手のみで**5mR相当の曲げ角度**まで屈曲できます。曲管の使用を削減することで、低コスト化も実現します。
※継手間の最小短管長さは700mmです。



■コスト比較

呼び径	従来配管	かんたん配管継手使用例①	かんたん配管継手使用例②
	曲管×4本	かんたん配管継手×4個 直管700mm×4=2800mm	かんたん配管継手×2個 直管3820mm
200	100%	94%	66%
250	100%	84%	61%

備考. 材料費のみのコスト比較。材料費は当社設計積算価格(2022年4月)より試算。

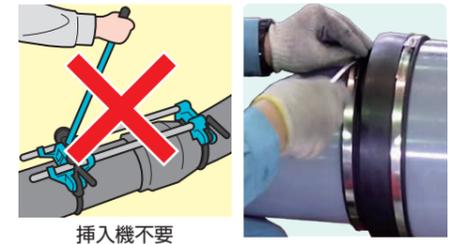
2 管端処理が「かんたん」

切管した時の管端処理は、面取り作業なしで接合できます。ボディ管の面取り作業が不要となり、ディスクグラインダーの作業を減らせます。「安全性の向上」「作業環境の改善」につながります。



3 差し込み配管が「かんたん」

滑剤と挿入機は不要で、**SUSバンドで締める**だけで配管が完了します。



4 ヤリトリ作業が「かんたん」

継手を**2個**使用することで、ヤリトリ継手として使用できます。さや管ヤリトリ継手を使用することで、対向配管(地獄配管)のやりとり施工もできます。



5 曲げ角度の管理が「かんたん」

曲げ角度(想定角度)標線ラベルがあるため、標線の角度と管の印字を合わせることで、規定の角度までの目安がわかりやすく、曲げ過ぎを防止します。

